

真庭コントラストホリデイと消防士の台所in真庭 真庭の「ちがい」を食べる週末



真庭の「ちがい」を伝えるピザづくり(2/11)



今と昔の学校の「ちがい」を学ぶ(2/9)



普段とは「ちがう」消防士(2/16~17)



日本とは「ちがう」海外のカレー(2/10)

食を通じてSDGsの普及促進を図る2つの企画が開催されました。2月9日から2月11日までの3日間は、真庭市が市内の団体や株式会社リバープロジェクトと協力して行う「真庭コントラストホリデイ」。時代とともに移り変わる学校給食について学んだり、真庭市に集まった外国人らが作るカレーを真庭のお米と一緒に食べたり、「落石」「久世」「勝山」「蒜山」の4テーマでピザを考案したりといった体験が行われました。2月16日と17日の2日間は、真庭消防署による全国初となる消防士の料理イベント「消防士の台所in真庭」。消防士が料理や接客を行い、来場者をもてなしました。春の火災予防運動に先駆け、防災意識を高めることも狙いの一つです。各イベントの参加者は、真庭の資源や人材などを発見する一味違う週末を味わいました。

市長と話そう
勝山高校生徒が市長と意見交換

2月1日、岡山県立勝山高等学校で「市長と話そう」が開催され、同校の生徒22人が参加しました。生徒たちは、総合学習の授業として自身で探求してきた地域課題解決策などについて、市長に提言や質問などを行いました。バイオディーゼル燃料の活用や若者を真庭市に呼び込む施策、10年後の真庭市、日本と海外の教育の違いといった幅広い内容でさまざまな意見が飛び交い、盛り上がりしました。



若者たちの考えていることを市長に伝える



スラックラインに挑戦

**真庭フレンドパーク スポーツ体験広場
笑顔で気軽にスポーツ**

1月27日、白梅総合体育館で7つのスポーツを気軽に体験できる「真庭フレンドパーク」が開催され、約600人の参加者が会場を訪れました。ベルト状のラインの上を歩くスラックラインや、ボールをスティックで打って穴に入れるスカットボールなどのアトラクションに参加し、クリア数に応じて「焼き鳥交換券」が手に入るダーツに挑戦できる仕組み。参加者は、楽しみながら夢中体を動かしていました。



市長室から
こんにちは!

隈研吾設計の オリンピック関連施設が蒜山に!

先月、三菱地所吉田社長、隈研吾氏（東大教授）、私の三人が、CLT国会議連の中谷会長代行、逢沢、あべ、石井の地元選出国會議員などのお祝いを戴き、三菱地所本社で記者会見をしました。その様子は、地元山陽新聞、真庭いきいきテレビはもとより、日経新聞などでも報道されました。

三菱地所が東京オリンピックの選手村（晴海地区）の近くに、世界的に著名な隈研吾先生（国立競技場の設計者）設計のパビリオンを建築し、ラグビーのワールドカップ、オリンピック、パラリンピックの選手が利用した後に、真庭市蒜山に移築するという内容です。

蒜山の観光客の落ち込みが深刻な中で、①観光客を増加させること、②観光客の滞在時間を延ばし、宿泊客を増加させること、③遅れているインバウンドを伸ばすことを常日頃から考えていました。そのため、案内センター、美術ギャラリーなどが必要だと思い、太陽光発電予定地を買収し、その一部7,500㎡の土地を残したのです。

そんな思いの時に、国家的プロジェクトの一環であり、隈先生の作品が最終的に真庭市に来るお話をいただきました。それも国の補助金や三菱地所からの企業版ふるさと納税などの導入により真庭市の財政負担は事業費の3割程度でかなり軽減されるのではないかと思います。

本来真庭市で建築しようとしていた施設に変えて、世界的建築家の作品で、オリンピック有名選手も利用した施設が来る可能性があるとは！これほど嬉しいことはありません。

来年度から事業をスタートさせるべく、議会で十分な議論の上で事業費を議決して頂くことを前提に、蒜山観光だけでなく、地域の価値を高めることになる本事業を真庭市挙げて歓迎し、必ず実現していきたいものです。



最優秀者に選ばれた平島消防副士長は県大会に出場します

真庭市消防職員意見発表会 市民の安全・安心を守るために

2月4日、真庭市消防本部で消防職員意見発表会が開催されました。この発表会は、若手消防職員が業務に対する提言や取り組みべき課題などについて発表し、課題などへの研鑽や意識高揚を図るため行われます。書類選考で選ばれた7人が、避難所の整備や防災教育などについて発表。最優秀者には、災害時に共助の気持ちを持ち外国人にも対応できるまちづくりの取り組みを提案した平島消防副士長が選ばれました。



気軽に仕事のことを質問できる座談会

ふるさと企業見学日帰りバスツアー 真庭の企業の魅力を伝える

2月14日、市内企業を学生などに紹介する「ふるさと企業見学日帰りバスツアー」が開かれ、高校生や大学生のほか、保護者など14人が参加しました。参加者は、株式会社デンソー勝山、三橋サンブリッジ株式会社、株式会社藤岡エンジニアリングの3社を見学。それぞれ、会社説明や施設見学、座談会が行なわれ、参加者は最新の技術で仕事が行われている現場を見たり、企業で働いている人から話を聞いたりしました。